

## U18・U16記録会での新型コロナウイルスへの対応について

一般財団法人 愛媛陸上競技協会

### ○大会の観覧について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、今回の大会については、参加選手、引率者のみの無観客試合とします。一般の方の観覧は、できません。

### ○競技会観戦方法につて

今シーズン、全ての競技会でマスクの着用、手指の消毒、をこまめに行っていただくことをお願いいたします。また、スタンドやスタンド下では「密」にならないように注意してください。

応援は全て拍手のみでお願いします。「声を出しての応援」・「集団での応援」は禁止します。また**競技者が大きな声を出すなどの行為も同様に禁止**します。

### 禁止例)

- 1：競技者の名前等を大きな声で叫ぶ。
- 2：フィールド種目の競技者が出した「行きま〜す。」などの声に対しての返答（「は〜い」等）。
- 3：競技終了後に「〇〇お疲れ〜」などの声掛け。
- 4：競技者が自身に気合を入れるため、または集中するための声出し。
- 5：競技場内において、リレー競技等のチームメイトへの応援。
- 6：その他、競技会運営に不要な声掛け

※新型コロナウイルス感染症の感染防止のためご理解・ご協力をお願いします。

### ○参加選手

#### 1 体温について

- ①2日間（大会前日及び大会当日）連続で体温が37.0度を超える場合は参加できません。
- ②大会当日の朝、はじめて37.0度を超えた場合についても参加を見送ってください。

※参加料については返金いたします。ただし、各所属の参加申込者から申込先担当者へ連絡すること。

#### 2 発熱以外にも咳やのどの痛み等の症状があり、体調が悪い場合についても参加を見送ってください。

#### 3 マスクの着用を必ずお願いします。特に下記の場所・状況においては注意すること。

招集所、参加受付時、着替え時、会話時等  
（なお、競技中、ウォーミングアップ中は着けなくてもよい。）

※招集所には必ずマスクをつけて来てください。

#### 4 こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒の実施をお願いします。

※石けんや消毒等については各チームで必ず準備してください。

- 5 競技に参加する際は、各自で手洗い・消毒を済ませた後、招集所へ来ること。また、競技終了後、ただちに各自、手洗い・消毒を行うこと。
- 6 観客席や控え場所において、観客や選手同士との距離を2 m以上確保してください。
- 7 個人・またはチーム内で出たごみは各自自宅へ持ち帰ること。
- 8 記録の掲示については、大型映像で表示しません。競技終了後、メインスタンド下正面玄関付近に掲示します。ただし、確認する際は、「密」を避けるため、短時間で確認し、その場で話をしないように注意してください。

**※本協会は競技会に参加するすべての方々（競技者・チーム関係者・競技運営関係者 等）の新型コロナウイルス感染に対するいかなる責任も負いません。**

# 競 技 注 意 事 項

本大会は、2022年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項によって行う。

## 1 練習について

練習は、補助競技場および雨天練習場（使用方法について下記参照）を原則とする。投てき競技（円盤投・ジャベリックスロー）の練習については、メイン競技場を使用すること。練習を行う際は係員の指示によって行う。

### ○補助競技場の使用について

レーンの使用については以下の通りである。

- ・1～2レーンは周回練習のみ使用可とする。
- ・3～4レーンは短距離練習のみ使用可とする。
- ・ブロックを使用してのスタート練習は多目的広場側直走路6～11レーンのみとする。
- ・多目的広場側直走路8・9レーンは女子100mH、10・11レーンは男子110mHとする。

### ○雨天練習場の使用について

- ①雨天練習場でのピストルの使用は禁止する。
- ②雨天練習場へは、第2ゲート側の入り口より入場することができる。第3ゲートからの出入りは禁止する。
- ③シート等を敷いて独占的な使用をすることを絶対にしない。
- ④ウォーキング・ジョギングなどペースが著しく遅いウォーミングアップまたは、動きづくり程度の練習は行ってもよい。それ以外は、補助競技場で行うこと。
- ⑤ウォーキング・ジョギング等は、左回りとし、逆走はしない。
- ⑥ハードルは使用できない。

### ○棒高跳・投てき（円盤投・ジャベリックスロー）について

競技開始60分前から現地にて練習を行うことができる。ただし、他の競技に影響がでないように、審判員の指示に従うこと。

## 2 スパイクシューズ等の制限について

全天候競技場であるため、スパイクの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳は12mm以下とする。

## 3 アスリートビブスについて

- ①アスリートビブスは指定された数字が明瞭に見えるように、ユニフォームの胸と背につけること。ただし、跳躍競技に出場する選手はどちらか一方でもよい。
- ②トラック競技に出場する選手は、主催者が準備した腰ナンバー標識を必ずパンツの左右横やや後方につけること。
- ③3000m以上の種目は別ナンバーカードを使用する。  
※別ナンバーカードは招集所にて配布する。

## 4 選手招集について

- ①選手招集場所は、第2ゲート付近とする。
- ②選手招集開始・完了時刻は競技時間を確認すること。  
※棒高跳・投てき（円盤投・ジャベリックスロー）は、現地で招集を行う。
- ③招集完了時刻に遅れた選手は棄権とみなす。
- ④2種目を同時に兼ねて出場する選手は、あらかじめ競技者係に申し出る。

## 5 競技について

- ①競技順は、プログラム記載の番号順とする。
- ②その競技をする選手以外は、トラックおよびフィールド内に立ち入ることはできない。
- ③トラック競技のスタートについては、下記のとおりとする。  
「不正スタートについては、各レースでの不正スタートは1回目からすべて失格とする。」
- ④スターターの合図は英語とする。（「On your marks」、「Set」）
- ⑤短距離走では選手の安全のため、決勝線到着後も自分に割り当てられた走路を走ること。
- ⑥レーンで行う競技種目で棄権者があった場合は、そのレーンをあける。
- ⑦競技場内での跳躍、投てきの練習は、審判員の指示によって行う。
- ⑧トラック種目 は予選・決勝を行う。
- ⑨フィールド種目は3回試技終了後、TOP 8を決定しで追加の試技を 3回行う。
- ⑩携帯電話等の通信機器・ビデオ・デジタルカメラ等を競技場内に持ち込むことはできない。コーチエリアからのコーチの持つ映像を見せることはできる。ただし、選手が機器等を手に持って画像を確認することはできない。
- ⑪フィールド競技における競技中の選手への水分の差し入れについては、競技該当審判員を通じて選手に手渡すことができる。

## 6 競技用具について

- ①競技に使用する用具は、主催者が用意したものを使わなければならない。  
個人所有のポールの検査は最終点呼時に跳躍審判が行う。
- ②練習用としても、個人の用具を競技場に持ち込んで서는ならない。

## 7 競技場への入退場について

種目別入退場口は下記の通りとする。各ゲートへは競技場外周を利用して移動すること。

第1ゲート：使用しない。

第2ゲート：1500mおよび棒高跳・投てき競技

第3ゲート：第3コーナー付近からスタートするトラック競技

第4ゲート：100m付近からスタートするトラック競技および三段跳

## 8 跳躍競技について

走高跳・棒高跳のバーの上げ方については、下記の通りである。

		練習		
走高跳	男子	145	150~170まで5cm刻み	173cm以降3cm刻み
	女子	120	125~140まで5cm刻み	145cm以降3cm刻み
棒高跳	男子	230	240~280まで20cm刻み	290cm以降10cm刻み
	女子	170	180~220まで20cm刻み	230cm以降10cm刻み

三段跳の踏切位置は、男子 11m00 女子9m00 とする。

## 9 その他

- ① やむを得ず棄権するときは、競技者係まで必ず届け出ること。
- ② 応急処置を要する健康上の問題が発生したときは、スタンド下の救護室に連絡すること。
- ③ 更衣室については、大会受付後方スタンド内通路を入れて右側にあるので利用してもよい。
- ④ 記録は、記録の掲示については、大型映像で表示しません。競技終了後、メインスタンド下正面玄関付近に掲示します。ただし、確認する際は、「密」を避けるため、短時間で確認し、その場で話をしないように注意してください。